

本学初の海外拠点を開設 台北サテライトオフィス開所式を行いました

平成28年5月13日（金）、台北市中山区にある沖縄県産業振興公社台北事務所において、「琉球大学台北サテライトオフィス」の開所式を執り行いました。

本オフィスは本学初の海外拠点であり、開所式には本学から大城肇学長、小島浩孝理事、新垣雄光国際教育センター長、大浜善秀総合企画戦略部長及び金城徹国際連携推進課長が出席し、沖縄県台北事務所より吉永亮太事務所長、ご来賓として黄輝慶 逢甲大学教授（元中琉文化経済協会駐琉球弁事所代表）及び陳韋廷 台湾同窓会代表が出席されました。

まず初めに、大城学長より「沖縄県産業振興公社のご尽力により、本学初の海外拠点となるサテライトオフィスを台北市に設置することができたことに感謝申し上げたい。今後は、台湾との学術研究・学生交流、留学希望者のリクルート活動の他、産学連携を進め、沖縄と台湾、そして東アジアの架け橋となる拠点にしていきたい」と謝辞と今後の抱負が述べられました。

続いて、吉永沖縄県台北事務所長から「沖縄県は、これまでも台湾との交流を深めてきた。今回の台北サテライトオフィスの設置により、学術分野での連携・協力がより強化され、沖縄県が掲げる『沖縄県アジア経済戦略構想』（※）がより一層の発展を遂げることを期待している」とのご挨拶があり、続いて黄輝慶 逢甲大学教授から「今後の日台間の学術・学生交流の発展や、琉球大学の台湾における大学間協定の広がりを期待している」とご来賓の祝辞を賜りました。

開所式の後、場所を移し台北市内の青葉餐厅において、本学の元留学生達による台湾同窓会が開催され、13人が参加しました。中には遠く高雄市から駆けつけた同窓生もあり、大城学長を囲んで親睦を深めました。同窓生達からは「台湾からの留学生の増加やオフィスの運営など、様々な側面から協力したい」との声もあがり、本学の今後の発展に期待が寄せられた一日となりました。

※「沖縄県アジア経済戦略構想」・・・アジア諸国と人・物・情報などの多様な交流を進め、沖縄県が日本とアジアを結ぶ架け橋となること及び相互の発展を目指すもの

